

第3号 稲作管理特報

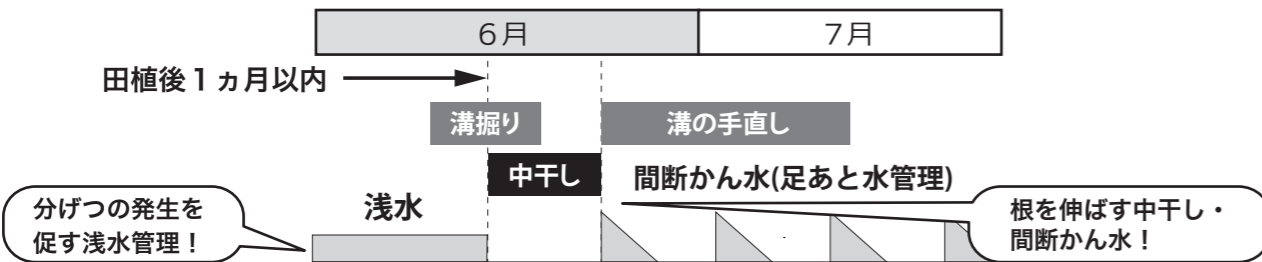
令和元年5月24日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

「穂数型稲」に向け、初期茎数の確保が重要です。

今年は、田植後の好天で活着が良いことから、浅水管理を続け、分けつの発生を促しましょう。

田植後1カ月以内を目安に「溝掘り・中干し」作業を進め、夏の高温に耐えうるしっかりとした「根づくり」に取り組みましょう。

【これからの水管理のイメージ】



1. 浅水管理 ～初期茎数を確保する～

- ・中干しまでは、浅水管理で水温を高め、分けつの発生を促しましょう。
- ・アオモが発生したり、ブクブクとわいているほ場、葉色の淡いほ場は、軽い田干しを行いましょう。

【直播栽培の水管理】

- ・除草剤散布前に水を入れ替える
- ・わいているほ場は、軽い田干しを行う

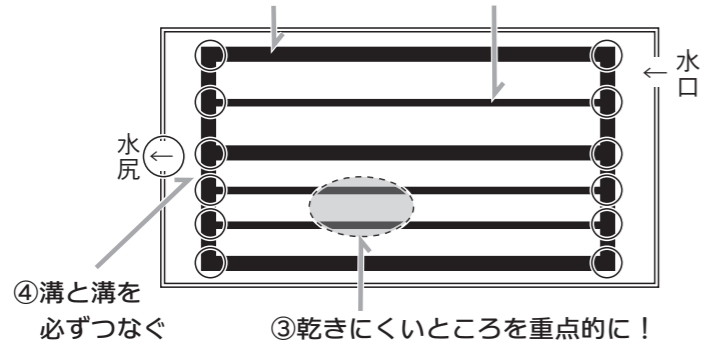
2. 溝掘り ～中干しの効果を高める～

- ・溝掘りは、中干し前に必ず実施しましょう。

溝掘りのポイント

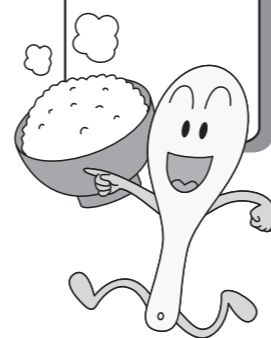
- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせて溝を掘る。
- ・溝の間隔は、5mに1本を目安に行う。
- ・ほ場の周囲と中央の1本は、特にしっかりと掘る。
- ・溝は、水尻まで確実に連結する。

- ② 額縁と中央の溝はしっかりと
- ① 5mに1本を目安に



<土が硬いと溝がしっかり残る>

『溝掘り・中干し』は適期を逃さずに行い、しっかりと根を伸ばそう！



● 溝掘りの効果

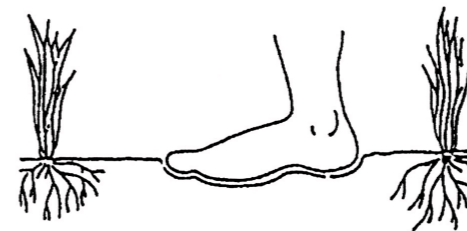
- ① ほ場のすみずみまで均一に干すことができる。
- ② 間断かん水の際など、水の出し入れがスムーズに行える。

3. 中干し ～根の量をしっかりと増やす～

- ・中干しは、田植後1カ月までに（70株植えの場合：株当たり16本程度）開始し、本格的な梅雨の前にしっかりと干しあげましょう。
- ・中干しが遅れると根張りが悪くなり青米や乳白粒が発生する原因となります。

中干しのポイント

- ・田面に小さなひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで干す。
- ・表面に水がなくても足が沈むようでは不十分です。



【中干し終了頃のほ場の状態】

中干し開始の目安
このほ場は、 月 日頃です。
遅れないで！
溝掘りは確実に！
地区米麦改良協会 地区農業技術者協議会

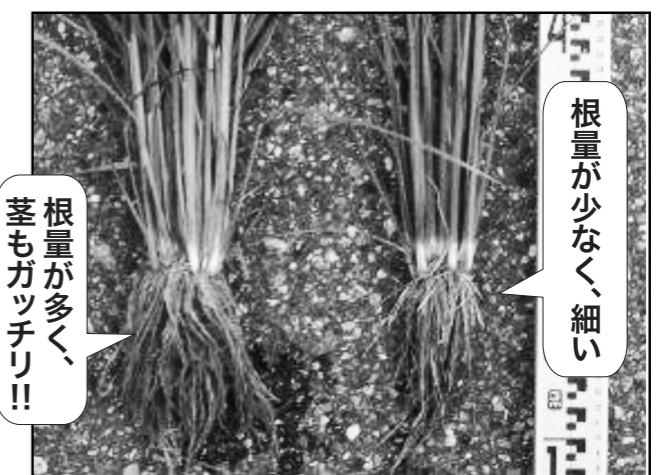
中干し開始札が目安!

※茎数が多くなりやすい田や乾きにくい田は、やや強めに干しましょう。（ただし、長くても連続1週間以内とし、週に一度は入水する。）

※茎数が少なめの田や乾きやすい田は、一度に干しあげないようにしましょう。（1日湛水、2～3日落水の「間断かん水」により、地固めする。）

● 中干しの効果

- ① 根の伸長を促進する。
- ② 過剰な分けつを抑制する。
- ③ 出穂後の湛水管理に備えてほ場を固くする。
- ④ ほ場を固くすることで、秋のコンバイン作業が効率的に行える。



根量も多く、茎もガッチリ!!

根量が少なく、細い

中干し有

中干し無

【中干しの有無が根の生育に及ぼす影響】